

## ベトナム北部，紅河デルタにおける氾濫原の形成と開発 Floodplain formation and reclamation of the Song Hong (Red River) Delta plain, northern Vietnam

船引 彩子<sup>1\*</sup>, 春山 成子<sup>2</sup>, 斎藤 文紀<sup>3</sup>

FUNABIKI, Ayako<sup>1\*</sup>, HARUYAMA, Shigeko<sup>2</sup>, SAITO, Yoshiki<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 日本大学文理学部, <sup>2</sup> 三重大学大学院生物資源学研究科, <sup>3</sup> 産業技術総合研究所 地質情報研究部門

<sup>1</sup>College of Humanities and Sciences, Nihon University, <sup>2</sup>Graduate School of Bio resources, Mie University, <sup>3</sup>Geological Survey of Japan, AIST

ベトナム北部，紅河デルタ平野西部には，巨大な自然堤防に囲まれた西氾濫原と呼ばれる地域がある．このうち本川紅河の分流，ダイ川の自然堤防は紅河のものより大きく，幅 3-8km，後背湿地との比高差は 3-5m におよび，後期金属器時代より人々の生活の場として重要な役割を果たしてきた．本発表では，西氾濫原の露頭やハンドオーガーによって得られた年代値，遺跡データなどから放射性炭素年代値を得て断面図や詳細な堆積曲線を描き，完新世の自然堤防の形成過程と人々の居住地域の広がりについて論じる．

また，歴史時代の資料をもとに，地形を利用した開発や防災対策の歴史についても議論する．

キーワード: 紅河, 氾濫原, 開発

Keywords: Song Hong (Red River), floodplain, reclamation